

●徳山高専●
10班が実用的システムを紹介
創造演習発表会



中学生(右の2人)の操作を見守る高専生

徳山高専情報電子工学科の創造演習作品発表会が二十日、周南市銀座のふれあいパーク街あい」の徳山高専夢広場で開かれ、昨年の四年生が開発した多彩なシステムを紹介した。

創造演習は三十九人が十班に分かれて幼稚園や福祉施設などでニーズを聞いてシステムを開発するもの。ウサギ小屋に不審者が近づくとカメラが自動撮影し、写真がメールで送られてくる「ウサギ防衛軍」、はいかいの心配がある人につけたタグをリーダーが読み取って

行動をつかむシステムなどが展示された。

すごろく形式でクイズに答えながら県名などを学ぶ「体感!日本ちず

っ」は頭に入りやすいようペンで文字を書いて入力でき、体験した岐陽中一年の山本大幹君(13)は「遊びながら勉強できるのでいい」と喜んで